

Q&A 先月の技術相談から

住宅に発生した羽アリ

Q: 住宅から大量の羽アリが発生しました。住宅に被害を与えたりしないでしょうか。

A: 羽アリには普通のアリとシロアリの羽アリがありますが、シロアリであった場合、住宅に使用されている土台などの木材が既に被害を受けている可能性が高いと考えられます。

図1のように幼虫-ニンフ-有翅虫(ゆうしちゅう)と分化して羽アリとなったシロアリは、ある時期になると集団で巣から飛び出し(群飛(ぐんぴ))、やがて王と女王が対になって新しいコロニーを作ります¹⁾。住宅に多数の羽アリの発生が見られた場合、このようなシロアリの群飛の可能性が考えられます。北海道では、一般的に5月末頃から6月にかけて、特に雨上がりの温暖な午前中に見られます。

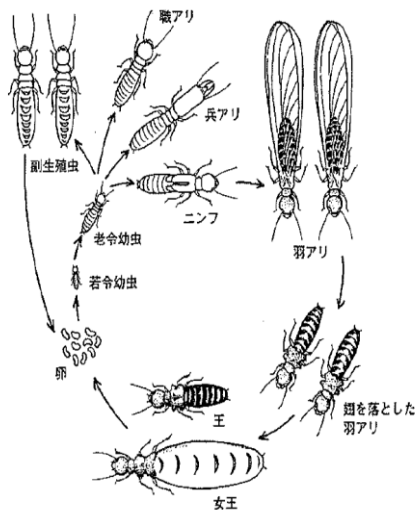
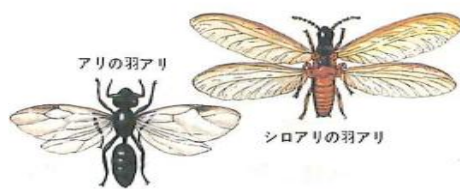


図1 ヤマトシロアリ属の階級分化¹⁾

シロアリの職蟻(しょくぎ)や兵蟻(へいぎ)はその名の通り白い色をしていますが、羽アリは褐色～黒色であるため、一見普通のアリの羽アリと区別がつかないかもしれません。しかし図2に示したように、胴、翅(はね)、触角の形態を見ることでアリかシロアリか区別することができます²⁾。

現在日本には23種のシロアリが生息していますが、木造建築物を食害する代表的な種はヤマトシロアリ

と、イエシロアリです。北海道で生息が確認されている種はヤマトシロアリのみで、主に函館を中心とした道南地域、札幌を中心とした道央地域で被害が報告されています。また、これまでに名寄市で生息が報告されており、これが現在シロアリの北限とされています³⁾。



	アリ	シロアリ
胴	くびれ腰	ずん胴
翅	前翅が大きく後翅が小さい	前・後翅がほぼ同形同大
触角	「く」の字形	数珠状

図2 アリの羽アリとシロアリの羽アリの違い²⁾

一般にシロアリの被害は、居住者が羽アリの群飛に気づいて初めて発見されることが多いといわれます。コロニーから羽アリが出るとはそのコロニーが十分に成熟しているということで、過去何年かにわたって食害し続けていたと考えられます。もしシロアリと思われる羽アリを見つけたら、早急に専門業者に相談してください。

参考資料

- 1) “木材保存学入門 改訂3版”, 木材保存協会発行(2012).
- 2) “防腐・防蟻処理材のすすめ”, (財)日本住宅・木材技術センター(1988).
- 3) 森満範: 林産試だより, 4月号, 1-4(2003).

(性能部 耐久・構造グループ 東 智則)